

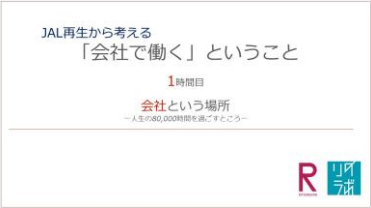
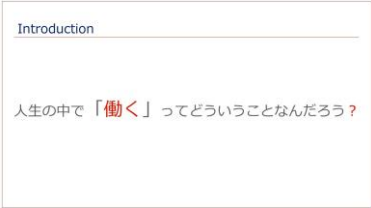
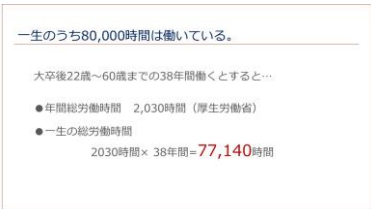
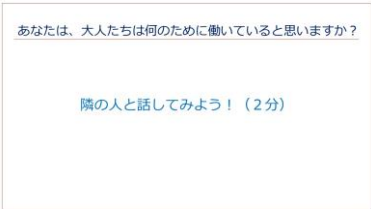
1 時間目教案 “会社で働くということを考える導入部”

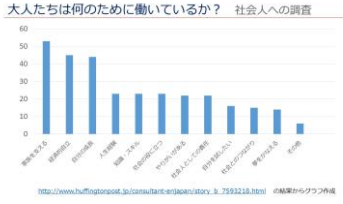

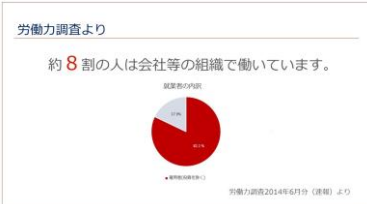


『会社という場所－人生の 80,000 時間を過ごすところ－』



(1) 授業目標

- ・「会社で働くこと」を考える導入として、
 「一生のうちで働く時間」 8万時間もあり、働くことをよく考えることの意義を確認
 「大人が働く理由」 指名で答えてくれた生徒たちは「収入」が多かったが、「やりがい、生きがい」も一部あった。しかし、「社会貢献」「社会を変える」はゼロである。
 「勤務形態の割合 –個人か組織か–」ロビンソン・クルーソーと桃太郎で個人と組織の違いをイメージしてもらった。
- ・題材となる日本航空株式会社についての概要、歴史（誕生から破綻、再生）について知る。

(2) 授業展開

<p>【準備】</p> <p>【導入】</p>	<p>①</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート準備（ステージ上椅子の上 にクラスごとに配置。クラス代表が取り に来てメンバーに配布）
	<p>②</p> 	<p>Introduction</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「働く」ことについて、それぞれの印象を シートに書いてもらう。 <p>※適宜当てる</p>
	<p>③</p> 	<p>一生のうち 80000 時間は働いている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長い時間を働いて過ごさなければなら ないことを知る。 <p>→だからこそ働く時間を考えることは大 切。</p>
<p>ワーク 1</p>	<p>④</p> 	<p>あなたは、大人たちは何のために働いてい ると思いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両親をはじめとして、大人はこの長い時 間を働く理由について想像し。実際のデ ータと照らし合わせる。※ペアワーク

	<p>⑤</p> <p>大人たちは何のために働いているか？ 社会人への調査</p>  <p>http://www.huffpost.jp/columnist-empower/story/3-759218.html ©編集からグラフ作成</p>	
	<p>⑥</p> <p>前のグラフを整理すると…</p> <p>働くことの結果としての収入面が理由の1位、2位にある。 …自分の家族が生活するための収入</p> <p>次に、働くことそのものへのやりがいや面白さが並んでいる。 …「自分の成長」「人生経験」「知識・スキル」</p> <p>最後に社会とのつながり・誰かのためにという公的な面がある。 …「社会の役に立つ」「社会人としての責任」「社会とのつながり」</p>	<p>前のグラフを整理すると…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の生活を支える ・ 自分の成長 ・ 社会とのつながり
	<p>⑦</p> <p>では、どのような働き方をしている人が多いのでしょうか？</p>  <p>ロビンソン・クルーソー型 困難したる一人で何事もやってみる。 （自立性、自給性）</p> <p>桃太郎型 先をやるつづけるために、個性のある メンバーを組織して、一つ事に集める。 （会社）</p>	<p>では、どのような働き方をしている人が多いのでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業主－組織で働くことの違いを、孤島で生活する「ロビンソン・クルーソー」と「桃太郎」を例に説明。
<p>ワーク2</p>	<p>⑧</p> <p>労働力調査より</p> <p>約 8割 の人は会社等の組織で働いています。</p>  <p>労働力調査2014年6月分（速報）より</p> <p>⑨</p> <p>みなさん！</p> <p>今回は 会社で働くことを一緒に考えていきます。</p> <p>皆さんは会社とは、 どういうところだと思っていますか？</p>	<p>労働力調査より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織で働く人（つまり、桃太郎型）が8割を超えることを提示し、「会社で働くこと」を考える大切さを伝える。 <p>皆さんは会社とはどういうところだと思っていますか？</p> <p>※ペアワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きいところ。 ・ 世界とつながっていくところ
<p>【展開 1】</p>	<p>⑩</p> <p>この飛行機を飛ばしている会社を知っていますか？</p>  <p>⑪</p> <p>日本航空株式会社（Japan Airlines Co., Ltd.、JAL）とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社員数 約32,000人（グループ会社含む） ●グループ連結売上高 1兆,3366億円 ●営業利益 2,091億円 （2014年3月期） ●グループ使用航空機数 227機（所有機・リース機合計）（2014年3月期） 	<p>この飛行機を飛ばしている会社を知っていますか？</p> <p>－日本航空株式会社とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的事例をもとに考えていく。

	<p>⑫</p> <p>でも、会社は倒産することがある。2010/1/14</p>  <p>⑬</p> <p>会社が倒産すると社員や取引先はどうなるのだろう？</p> <p>想像してみてください。</p>	<p>でも、会社は倒産することもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JAL 社員の働き方に対する考えや行動を変えたきっかけである「破綻」を紹介。この事実を知らない多くの生徒は驚く。 <p>会社が倒産すると社員や取引先はどうなるのだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最悪な状況（破綻）を想像することで、記録的な復活へのハードルの高さを示す。それにより、以降の社員の変化のすごさ、大切さを理解する基盤をつくる。
<p>【展開2】 ミッション1</p>	<p>⑭</p> <p>けれども、史上最速で復帰しました！ 2012/9/19</p>  <p>⑮</p> <p>ミッション1</p> <p>「倒産した航空会社が（史上最速で）復活する。」 そのために君たちがもし社員であるなら、 何ができるか想像してみてください。</p> <p>ペアワーク（2人）</p> <p>⑯</p> <p>会社が復活するためには、赤字経営を黒字経営に変える！</p> <p>売上を最大に、経費を最小に</p> <p>収入を増やす 経費を経らす</p> <p>それぞれのアイデアを 考えてみよう</p>	<p>けれども、史上最速で復帰しました！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最悪な状況から、記録的な速さで抜け出すことができた理由を考えさせる。 <p>※ペアワーク</p>